



総会

2月8日(土)

面替公民館において、30名の出席のもと以下の事項が決まりました。

- ・25年度決算
- ・26年度事業 野生フジバカマの栽培面積拡大(Kさん畑、Iさん畑)
- ・第2回アサギマルシェの開催
- ・ホームページの開設
- ・役員改選(監事)

閉会后、浅間縄文ミュージアム学芸員の堤先生より、面替クラインガルテン建設予定地の埋蔵文化発掘調査結果について講演がありました。花畑を含めたこの一帯に縄文時代の遺物が大量に出土していましたが、今回の調査でその遺跡の上に平安時代の遺跡も確認され、「利」と墨書された器も見せてもらい、遠い昔がとても身近に感じられました。



児玉・アサギマダラの会 苗掘りに

本会の移植日前日の4月18日、児玉・アサギマダラの会(2月11日に発会)の皆さんが、苗の掘り取りに見えました。児玉交流センターの横に立派な畑を作り、アサギマダラの飛来に夢をふくらませています。



フジバカマ移植作業

4月19日(土)

野生フジバカマの栽培面積を増やすべく新たにKさん、Iさんの畑を借りて移植。奥のIOさんの畑の園芸種をやめ、野生種に切り替えました。



草取り

5月31日に全員で始めました。
今年は面積も増えた為、7~9月は毎週土曜日の午前中を中心に実施しました。



「サナギ」 エコール御代田に展示

信濃毎日新聞7月17日付の記事にも掲載されましたが、緑の中に金箔の点々の宝石はとても生物とは思えない美しさであり、来館者も一様に感動していました。数日後2頭とも無事飛び立っていきました。



「第2回アサギマルシェ@面替」開催

9月27日(日)

昨年の大盛會に倣い今年も大星神社に關係者一同参拝し成功を祈願、ワインで乾杯し心をひとつに。駐車場も、出入り口道路が拡幅・舗装されスムーズに。

事前に信毎・週刊さくだいら・“よくだにい”・FM長野・FM軽井沢に流して頂き宣伝もうまくなりました。また、当日もFMとうみ・NPO法人信州御代田ハピネスプロジェクトの取材があり、今後に繋がるものと思われます。

今回初企画“俊智とともに”の中で、正副会長が旅する蝶を想い“遠い世界に”を熱唱。

今年も蝶の数が少なく、思うようにマーキングできなかつたこともあり、会長が30分ほどアサギマダラ、フジバカマ、イケマの話をしました。2回目になるとリピーターも多く和気あいあい、大勢の皆様楽しんで頂けたと思います。

“お金もかからず、のんびり楽しめる。これはいい！”という長野市からのお客さんの一言が耳に残った一日でした。



大星・アサギマダラの会よりお知らせ

— 第2回アサギマルシェ@面替 開催 —

9月27日(日) 面替・大星神社境内にて

- ・フリーマーケット 10:00~15:00
- ・俊智 鎮守の杜ミニコンサート 10:30~11:10
- ・アサギマダラ観察会(マーキング) 13:30~

※豚汁、茹で白芋、フジバカマ切花のサービス有ります
昨年は大変大勢の皆様にお越し戴き有難うございました。秋の深まりとともに南へ移動するアサギマダラと一緒にのひとときをお楽しみ下さい。アサギマダラは9月15日~10月10日頃迄その優雅な舞いを見ることが出来ます。



9月1日 よくだにい掲載

信濃毎日新聞 10月3日掲載

アサギマダラが 来た 自然の神秘

御代田町面替地区開かれたアサギマダラの観察に昨年行った折、約束しておいたフジバカマの苗を分けてもらい、今春、畑の隅に植えました。アサギマダラが訪れることを願って手入れを待つていました。

9月下旬、見に行つた夫が匹ペアで来ていると喜ぶの声を上げました。それから毎日、フジバカマの蜜を求めてやってきていま

町に元気を運んで夢を与えてくれたアサギマダラ、そして皆と交流する場を与えてくれた大星・アサギマダラの会の皆さん、ありがとう。
北佐久郡 柳沢 典子
(主婦・71)

。す。本当に夢のような光景です。ほとんど知らなかつたアサギマダラの生態も観察会に行つて知ることが出来ました。
2千匹も飛んできて夜は雑木林で休み、フジバカマの花に集まること、マーキングをして飛ばすとつかまえてくれれば、どこまで飛んだか連絡があるそうです。本当にロマンの世界へと誘つてくれる、こんな素晴らしいことが自分の身近な所でできるなんて、自然の神秘の扉を開けたような気持ちです。

H26.10.3

ホームページ

会員のSさんに作成して頂きました。
「大星・アサギマダラの会」で検索できます。